

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年12月前半）

1. 経済

- 仏ケーブルテレビ大手ニューメリカブルの親会社であるアルティス社（本社当国）、ポルトガル・テレコム社の買収に関し、同社を所有するブラジルの通信大手オイ社と交渉を開始した旨発表。（2日付ル・コティディアン紙）
- ルクスエアー社、2日時点で今年の乗客数が100万人を突破。年間で100万人を超えるのは同社初。（3日付ル・コティディアン紙）
- 2014年11月のインフレ率は0.1%（前月は0.3%）。（3日付統計局プレスリリース）
- フィンデル空港を運営するLux-Airport社、中国の鄭州空港を運営する河南省空港グループと、戦略的な協力を定める協定に4日にルクセンブルクで署名。（5日付ル・コティディアン紙）
- 当国最大労組であるOGBLの新委員長として、アンドレ・ロルチェン（Andre Roeltgen）事務局長が5日の年次総会にて選出、就任。（6日付ヴォルト紙電子版）
- ルクセンブルク税務当局と多国籍企業の税務合意について、国際調査報道ジャーナリスト連合（ICIJ）が新たな調査結果を9日に発表。「ルクスリークス2」とされ、35の企業の2003年から2011年にかけてのタックスルーリングについて報じられた。（10日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年第3四半期の被雇用者数は、前期比+0.6%、前年同期比+2.5%。（15日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- 中国工商銀行（ICBC）のルクセンブルクにおける人民元決済業務が4日に開始。また同日、ICBCとルクセンブルク証券取引所との間で人民元の国際化に関連する金融活動での協力を定める覚書に署名。（4日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス及び証券取引所プレスリリース）

3. 政府

- シュナイダー経済相、1日から2日にかけてルクセンブルク開催の欧州宇宙機関閣僚級会合に出席。（2日付経済省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、ミラノ及びトリノにてルクセンブルク・フォー・ファイナンスが開催する金融セミナーに2日から3日かけて出席。（4日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経済相、4日から5日にかけてブリュッセル開催の競争担当相

会合に出席。（3日付経済省コミュニケ）

●グラメーニャ財務相、8日にブリュッセルでヴァン＝オヴェルトヴェルト白財務相と会談。（8日付財務省コミュニケ）

●シュナイダー経済相、9日にブリュッセル開催のエネルギー担当相会合に出席。（8日付経済省コミュニケ）

●シュナイダー経済相及びバウシュ公共事業相、当国南部のベッテンブルク市及びデュドランジュ市に建設される、複合一貫輸送センターの着工式に10日に出席。（10日付経済省及び公共事業省コミュニケ）

●ベテル首相及びグラメーニャ財務相、サンアマンOECD税務局長とルクセンブルクにて11日に会談。（11日付政府公報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。